

経営比較分析表（令和4年度決算）

宮城県塩竈市 塩竈市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	22	-	ド訓	救臨輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中後病院	看護配置
52,474	10,495	非該当	非該当	10：1

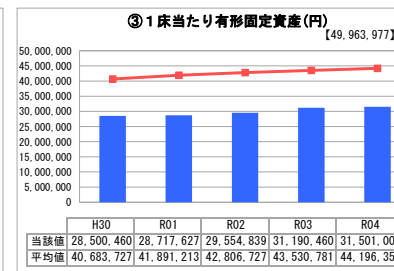
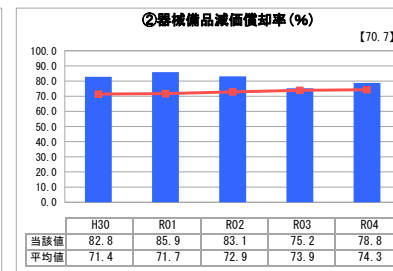
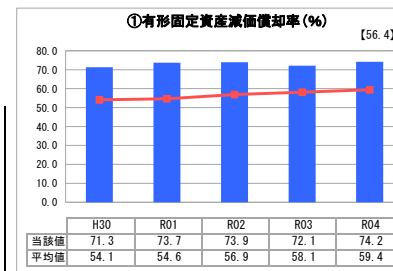
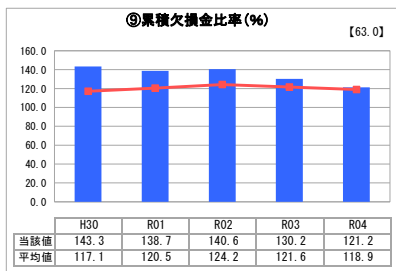
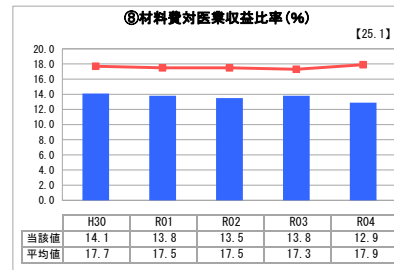
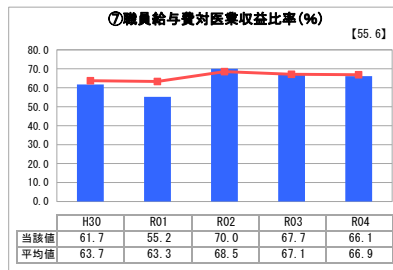
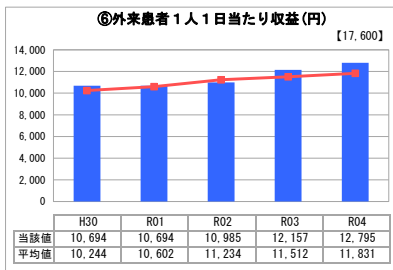
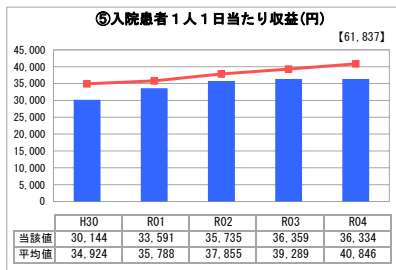
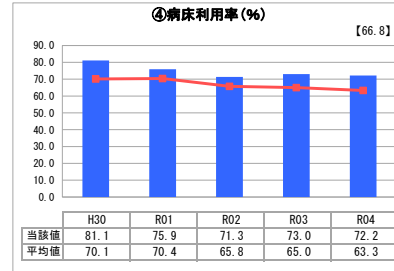
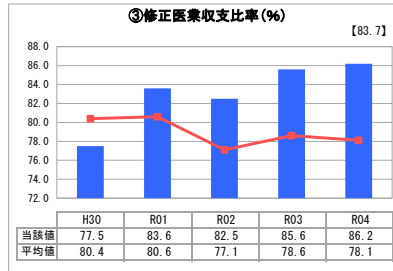
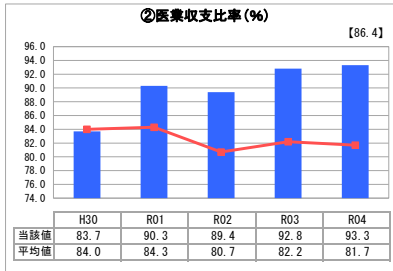
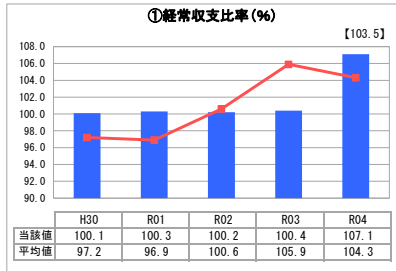
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
161	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	161
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
161	-	161

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
業務分化・連携強化 (従来の可搬・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

消化器系を中心に救急患者の受け入れをはじめとする急性期から回復期医療及びレスパイト入院まで幅広く対応しています。更に、在宅療養支援病院の認定を受け、訪問診療や訪問看護、訪問リハビリテーションなどの在宅医療を提供するなど、離島である浦戸諸島を含めた地域における地域包括ケアシステムの中心的な役割を担っています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性としては、③の修正医業収支比率では、類似病院平均値及び全国平均を上回っています。①経常収支比率で100%を超えた収支比率を継続していることにより⑨累積欠損金比率が減少し、一定水準の経営の健全性を確保しています。収益の効率性としては④病床利用率が類似病院平均値及び全国平均を上回っており、⑤入院患者1人1日当たり収益⑥外来患者1人1日当たり収益についても、類似病院平均値に近い水準を維持しています。費用においては⑦職員給与費対医業収益比率で類似病院と同程度の水準を推移していますが、効率性を追求し⑧材料費対医業収益比率を類似病院平均値及び全国平均より低水準に維持しています。

2. 老朽化の状況について

⑫器械備品減価償却率は更新が進み類似病院平均値並びに全国平均に近い水準に改善してきました。しかし、⑩有形固定資産減価償却率が類似病院平均値及び全国平均を大きく上回っています。これは、建物の更新が進まないことが主因となっており、類似病院及び全国と比較して、施設の老朽化が著しく進行した状況となっています。一方で、⑬1床当たり有形固定資産額においては類似病院平均値並びに全国平均を大きく下回っており、必要最小限の施設・資産での事業運営を行っています。

全体総括

地域医療構想を踏まえた病床機能転換、病棟再編により、今後地域が必要とされる地域包括ケア病棟の拡充を図り、地域の公立病院としての役割を明確化しました。結果経営の健全性・効率性についても一定の成果を上げることができました。一方、施設の老朽化が深刻化していることから、安全・安心な医療の提供に向けての対策の検討が必要な時期に差し掛かっているのが今後の課題となっております。今後は、令和5年度に策定する塩竈市立病院経営強化プランに経営の健全化と施設の老朽化対策を盛り込み、プランに沿った事業運営を行い、地域の公立病院として期待される役割を積極的に担います。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。